新年を迎えて

代表取締役社長　**野澤　学**

新年あけましておめでとうございます。

ケミカルタイムズをご愛読の皆様におかれましては、さぞかし良いお正月をお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げます。

昨年は世界最大のスポーツイベントであるオリンピック・パラリンピックの東京開催が決まり、歓喜に沸きました。その事実を噛み締めるたびに誇らしい気持ちが湧き上がってまいります。これからの7年間、様々な形で国民に希望を与え、何よりも未来を担う若者たちに大きな夢を与えてくれるはずに違いありません。2016年のオリンピック開催がリオデジャネイロと決まった前回の招致活動では、日本は不景気で日本開催の支持は今一つだった気がしますが、今回は国、経済界、スポーツ界が一体となって以前の苦い経験を生かし、東京に招致するために、周到な準備とロビー活動を上手に進めた結果、他の立候補国に優ったと思います。自ら行動を起こす『コト』を作り上げる大切さを再認識させてくれました。

さて、当社は本年11月13日に創立70周年を迎えます。1944年（昭和19年）に関東化学株式会社として設立以来、科学の進歩を支える化学薬品メーカーとして、お客様から生まれる新たなニーズに応え、技術を駆使した多くの製品を世に送り出してまいりました。昭和30～40年代の高度経済成長期には、世界で初めての電子工業用薬品グレード（EL規格）となる高純度薬品の製造販売を開始、半導体産業の成長に貢献してまいりました。その後も各種分析用試薬、合成用薬品、臨床検査薬、食品添加物、医薬品原薬・中間体等の研究・開発を進め、また関連する製品の品揃えも実施し、現在は『総合試薬メーカー』として約50,000品種もの研究用試薬・キットを取り揃えております。

現在、国内にはメイン工場である埼玉・草加工場以外に、岩手、伊勢原、三重、岡山、大牟田工場の6ヵ所が稼働しておりますが、海外においては昨年8月、関連会社Kanto-PPC上海による中国・蘇州工場を立ち上げました。これにより米国、台湾、シンガポールに続く電子工業用薬品の新しい生産拠点を配置できました。各拠点で生産される製品には当社のブランドである『Cica』マークが付与され、着々と命が吹き込まれております。これからも国内外の関東化学グループが一丸となって、世界に向けてCica製品の品揃えと販売網を拡大させ、科学技術の進歩と世の中の発展に積極的に貢献し続けていく所存でございます。これまで叱咤激励およびご愛顧いただいた皆様に感謝を申し上げるとともに、今後も皆様のご要望に的確に応えるために、私どもならではの『モノ（製品）』と『コト（顧客感動）』作りを実践し、お役に立ってまいりたいと考えております。引き続き、今後のご指導ご鞭撻を頂戴できれば幸いに存じます。

皆様におかれましては、この一年が光輝に満ちた幸多い一年でありますように祈念し、新年のご挨拶といたします。